

# 人 ピープル



大臣表彰の公園愛護会会長

小林 三郎さん(68) 大利根町二丁目

## 花や緑で憩いの場をより美しく

大利根町二丁目のひまわり公園愛護会が第十三回「みどりの愛護」功労者選ばれ、国土交通大臣表彰を

受けた。その愛護会の会長を昨年四月から務めている。「皆さんが協力してくれたからこそ

その表彰をいただくことができました。前の会長さんから後任に頼まれ、一年間だけというつもりで引き受けたんです。でも、熱心に協力してくれる人たちと一緒に花壇やベンチを作ったり芝を植えたり、次々とやりたいことが増えてきてしまつて、できるだけ特色のある公園にしたいと思つていたら、もう、二年目になってしまいました」

定期清掃や除草などの地道な活動はもちろんなこと、工夫を凝らした地域ぐるみの公園づくりが高く評価された。

「花壇のさくや囲い、ベンチなどは利根川の流木や石を集めてきて作るんです。会員の中にも器用な人がいて、上手に木を加工してくれます。おかげで、温かみのある憩い

の場になりました。この近所はお年寄りが多くなってきたから、散歩の途中で、ちょっとひと休みできるような、花や緑の多い安らぎのある公園にしたいですね」

昭和四十五年、県企業局が分譲した大利根町二丁目の住宅団地へ移り住んでから、三十年以上にもなる。

「公園にある六本のケヤキもすっかり大木になりました。晩秋には落ち葉の掃除が大変です。でも、木陰で遊ぶ親子連れや、花壇に目をやりながら散歩を楽しむご夫婦の姿を見かけるたびに、公園をもっと良くしたいと思えますよ」

自宅の庭にはサツキが美しく咲いていた。花や緑を愛する心が地域全体に広がり、公園愛護会の模範ともいえるまちづくりが進んでいる。

## 学校つうしん お年寄りとの 交流を体験



元総社中学校

元総社中で六月四日、二年生と地区の一人暮らしのお年寄りとの交流会が行われました。総合学習の一環として始められ、今回で三回目。日ごろ、お年寄りと触れ合う機会が少ない生徒たちにとっては、貴重な体験です。

最初に、吹奏楽部が時代劇のテーマ曲などの演奏をプレゼント。続いて交流会に入り、生徒たちの肩たた



きに、お年寄りはすっかり満足した様子。トランプゲームやクイズが始まると、会場は楽しく、温かい雰囲気に包まれていました。

## Pick up ぴっくあつぷ

### わんぱく力士が大集合

敷島公園相撲場で、五月二十五日に小学生による「わんぱく相撲前橋場所」が開催されました。土俵に上がった子どもたちは、真剣なまなざしで勝負を挑み、多くの熱戦を展開。子どもを応援する親たちの声の中、特に小兵力士の活躍には大きな拍



手が送られ、会場はにぎわいました。四年生以上の優勝者は、七月二十八日に西国国技館で行われる全国大会に出場。上位進出を狙います。